

10月と11月の「子育て支援事業」のお知らせ

① 実施日

- ・10月7日(火)・9日(木)・・・芋ほり体験
- ・10月15日(水)・・・高木瀬赤ちゃんサロン(高木瀬公民館)
- ・10月20日(月)・・・赤ちゃんの日「足形キーホルダー作り」
- ・10月22日(水)・・・ベビーマッサージ講座(先着5組)
- ・10月29日(水)・30日(木)・31日(金)・・・フリーデー
- ・11月14日(金)・・・赤ちゃんの日「足形アート」
- ・11月18日(火)・・・環境講座「エコプラザ」(先着5組)
- ・11月10日(月)・13日(木)・25日(火)・・・フリーデー
- ・11月27日(木)トイレトレーニング(先着6組)

② 時間:10時～12時

③ 開催場所:子育て支援センター・運動場

④ 駐車場:三光保育園駐車場

※三光幼稚園の駐車場と間違わないようお願いします。
くすくすパン屋さんとファミリークリニックの間の道を南側に入って頂くと、左手に三光保育園があります。

⑤ 申し込み方法:電話予約

10月分の申し込みは、10/1(水)～9時半～17時です。

11月分の申し込みは、11/4(火)～9時半～17時です。

※赤ちゃんの日は兄弟児の参加はご遠慮下さい。

★様々な状況により計画の変更や中止が予想されるため、お出かけの前に必ず、ホームページで**支援事業の有無をチェックしてください。子育て支援のラインアカウントがありますので、ライン登録をしていただくのが、一番お勧めです。**

「自然体験:芋ほり」に行きます！

日時:10月7日(火)10:00～12:00 (先着15組)

10月9日(木)10:00～12:00 (先着15組)

2・3歳児さんがお申込みいただけます

※詳しくは、予約時のお電話でお知らせします。

HPにも詳しく載せています。

(金立公民館に、現地集合・現地解散です。)

(10/1 9:30から電話予約開始です。※先着順です！)

暑い中にも秋の訪れ🍁

日中はまだ夏日が続いていますが、朝晩は気温が下がり、園児たちも朝夕外遊びが可能になってきました。園庭ではどんぐり拾いも始まり、数を競い合ったり、何をつくろうかと思案する様子が見られています。保育園の小さな子ども達も砂場に座って砂の感触を楽しんだり、興味があるものに向かって一目散に走ったり、指差しで保育者に何かを伝えようとするまなざしに成長を感じる今日この頃です。

先月は敬老行事として、シニアサロンの方々と交流をしました。「子ども達の姿を見ると元気が出るよ!」「あつという間に大きくなるね♥」等々、目を細めて優しいまなざしでエールを送って頂きました。

ぽぽらに通うお子様方もみるみる成長しておられます。今月は外部での芋ほり体験も入ってきますので、ぜひ親子で楽しんで下さい。

♪育児相談・食育相談をしています♪

三光保育園及び三光幼稚園では、育児・食育相談を受け付けています。お気軽にお申し込み下さい。

※毎月第3火曜日の14時～16時までは、西九州大学短期大学部教員による、食育相談を行っています。事前にお電話でお申し込みの上、ご利用下さい。

(受付時間:平日の9:30～17:00まで)

さんこう・ぽぽら(園庭を含む)開放の時間帯について

【開園日】〇月～金(祝祭日・お盆・年末年始を除く)

【時間】〇9:00～12:30、13:30～16:00

※12:30～13:30 昼休み・準備の為閉園

【お知らせ】

※熱中症指数が高い場合は、安全上中止します。

※園行事の為、ご利用できない場合があります。

※出前支援の場合は、担当職員が不在になります。

※ご希望の場合は電話でお問い合わせください。

「シニアサロンぽぽら」

子育て支援センター「さんこうぽぽら」では、月に1回地域の方にお越し頂き楽しいひと時を過ごしています。

お茶とお菓子を頂きながら、おしゃべりや物づくりを楽しみませんか？

日時:10月24日(金)花の苗植え

11月20日(木)防災の学び

寄稿：西九州大学・西九州大学短期大学部の窓から

子育て便り

『心の発達と非認知的能力』

健康福祉学部スポーツ健康福祉学科 教授 栗原淳

幼児期から学童期、そして思春期を経て青年期にかけ私たちは成長し、心身の機能も発達をしていきます。ここ 40 年程、体力・運動能力低下が指摘される一方、特に心の発達面において、自己肯定感や自己効力感の欠如、自尊感情の喪失や燃え尽き症候群（やる気・意欲が湧かない）など、医療関係者や教育現場から多くの心の健康課題が報告されています。心の発達は言い換えると脳の発達とも言えます。

簡単な脳科学の視点で考えてみますと、額（おでこ）の内側にある前頭葉は、「意欲」や「集中力」、「がまん」といったブレーキ機能（善悪に従う）の働きをしています。また、脳の中心部にある扁桃体は、「安心」「幸せ」「満足」といったアクセル機能（好き嫌いに従う）の働きをしています。この両者のバランスによって、私たちは日常生活のあらゆる場面で意思決定を行い、行動選択の判断をしているといっても過言ではありません。自分のやりたいことをいつも我慢し続けている状況を想像してみましょう。主体的に行動することや物事に取り組む意欲が湧くはずありません。好き嫌いだけに従っていたのでは、自己中心的で協調性のないわがままな存在となってしまいます。アクセルとブレーキの両者が十分機能することが心の健康に大切な要素となるのです。

これまでの社会は、知識偏重の学歴社会と言われてきました。この社会では IQ で示される「認知能力」が重視されてきました。現代社会は AI（人工知能）に代表される超情報社会です。もはや、単に知識量を求める時代ではなく、如何に知識・情報を活用しながら、周囲の人と協力して課題解決に向けて粘り強く立ち向かえる能力を求める時代なのです。この能力を「非認知的能力」と言います。「非認知的能力」とは、IQ では測ることのできない感情をコントロールする能力、粘り強さ、周囲と上手に関わるスキルといった、人間力のことを示します。そして、「非認知的能力」をしっかりと身に付けるためには、幼児期に取り組むのが最も効果が得られやすいとされます。日本でも 2017 年 3 月の学習指導要領改訂の際、「非認知的能力」を強化するプログラムが導入され、保育所保育指針、幼稚園教育要領もその視点を踏まえ改訂されました。

ここで、5つの「非認知的能力」を紹介しましょう。

◎心の知能指数：感情をコントロールする力。自己制御力（がまんする力）

◎社会的指数：人の気持ちや状況を想像する力

◎発想指数：創造力や発想力の強さ

◎身体的能力：忍耐力や継続力の強さ、粘り強さ

◎逆境指数：逆境にめげずに前進する力、レジリエンス

幼児期に大切なことは、“やりたい”遊びに夢中になり、試行錯誤することです。様々な遊びを通して小さな失敗を繰り返しながら、やる気、忍耐力などの能力を身につけ、達成感が自信や意欲を高めることに繋がるのです。

子どもが遊び込んでいる姿は、心の発達にとって「宝石箱」なのです。